



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

学習ツーリズムへの取り組みと視点

小池 隆志 (こいけ たかし)

株式会社 ANA総合研究所



○ 登録者情報

所在地

東京都港区

略歴

Q東京都出身

Q1975年4月全日本空輸株式会社入社

Q2010年4月株式会社 ANA総合研究所出向

Q2010年4月～2011年3月 ふるさと財団地域再生マネージャーとして鳥根県益田市の地域再生環境整備事業を担当、2011年度は益田市との個別契約による地域振興事業を継続。

Q2010年4月から2015年まで北海道白糠町の地域資源活性化アドバイザー事業を担当。内2014年度はふるさと財団「新・地域再生マネージャー事業助成金」の採択を受け主に学習ツーリズムのプログラム構築に携わる。

Q2011年4月より2013年3月まで鳥取県鳥取市の地域協働事業契約による活動を担当。

○ 学習ツーリズムへの取り組みと視点

取組の内容

地域振興の活路として、どこの市町村も観光事業、交流人口の増大を期待し取り組みますが、美しい自然、豊かな食、といった素材だけでは他地域との差別化は難しいです。又マストツーリズムを目指しても期待通りには行きません。

そのような中で学習ツーリズムは町の日常そのものを見直して体験学習のプラットフォームとする考え方です。このツーリズムの素材は産業ツアー、グリーンツーリズム、地元の産学協同などの合同で、「町があり、生活があり、産業や自然があることそのものが学習教室である」という発想で継続性のある活動をめざすものであり、そのひとつに地域の食文化も大きな役割をにないます。



実績

知名度が無い町が始める活動で交流人口の飛躍的な増大は難しいテーマです。町の人々の理解と協力を得ながら2～3年の期間をかけ少しずつ進めるほか無いです。初年度はそのような意味でマスコミに如何に拾われるかといった知名度向上活動と町のコンセンサス固めが必要です。その意味では新聞報道などは毎月2～3件を超える活動の紹介があり、地域のまつりにも例年の3倍となる人々の訪問を受けたことで第一関門はクリアしたと考えています。

工夫した点や苦労した点

プログラムの設定は日常の暮らしを紹介し、体験させるものですから、地域の人々の生活を邪魔せず、協力を仰ぐ努力が欠かせません。それぞれの関係者の「思い」が一致することばかりではなく、あせりは禁物です。またお金の管理は始めにしっかり責任管理体制をとる執行ルールを決めることが大切です。

ひとつとPR

地方の消滅が話題になる中でそれぞれの地域に入れば何故か居心地がよいのです。しかしいつの間にか「ゆでガエル」の釜の中にいたり、「サバの活腐れ」が進んでいるかもしれません。そこに気づいて脱出の糸口を共に考えるアドバイザーでありたいと思います。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化	8	若者自立支援
	3	少子化対策	9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	10	環境保全
	5	定住促進	11	その他
○	6	観光振興・交流		

関連ホームページ

株式会社 ANA総合研究所	http://www.ana-ri.co.jp/tiiki/
---------------	---

連絡先

メールアドレス	15vaon1000[at]gmail.com	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[at]を『@』に変えてください。

戻る